

平成28年2月10日
法務省入国管理局

「入国管理業務の民間委託の拡充について」に係る国家戦略特区ワーキンググループからの指摘・確認事項について（回答）

標記について、下記のとおり回答します。

記

- 1 ブースコンシェルジュの配置空港ごとの委託方法、委託内容、委託先等の措置状況について

ブースコンシェルジュの委託内容は、上陸審査場における適切な誘導及び上陸審査時に必要となる出入国記録カードの記載事項の説明等であり、配置状況等については別紙を参照願いたい。

- 2 バイオカートの導入空港ごとの予算額、委託方法、委託内容、委託先、導入時期、導入人数等の措置予定について

バイオカートによる個人識別情報の提供の事前取得補助要員分として、平成28年度予算案に関西空港分158,814千円、高松空港分3,345千円、那覇空港分71,722千円が計上されている。

導入時期や委託方法等の詳細については、今後検討を進めていくことから、現状ではお答えできない。

以上

別紙

配置先空港	委託/賃金	契約相手方	配置人数
新千歳空港	賃金職員		1~2人
青森空港	賃金職員		1人
仙台空港	賃金職員		1人
秋田空港	賃金職員		1人
成田空港	業務委託	(株)東武	30人前後
羽田空港	業務委託	日本シティビルサービス(株)	8人前後
中部空港	業務委託	(株)東武	3人程度
関西空港	業務委託	東亜警備保障(株)	8人前後
広島空港	業務委託	(株)全日警	2人
福岡空港	業務委託	(株)ドットコミュニケーションズ	1~2人
那覇空港	業務委託	(株)沖縄コングレ	1~2人

※1 契約状況については平成27年4月10日時点で調査したもの。

※2 配置人数については一週間のうちの一例であり、時間帯ごとに異なる。